

平成31年3月1日 第8号

やはすの風

北九州市立門司総合特別支援学校
校長 奥田まさ子

◇卒業生とのお別れ会がありました

2月22日（金）、卒業生と在校生が一堂に集まり、「卒業生を送る会」が行われました。本年度は、小学部10名、中学部17名、高等部17名の児童生徒が卒業します。送る会では、次のこととお話しました。



卒業生の皆さんとお別れするにあたって、今日の「卒業生を送る会」で、「ご卒業おめでとうございます。今までありがとうございました。これからも、元気にがんばってください。」という気持ちをこめて、門司総合特別支援学校の在校生と先生方全員で、卒業生の旅立ちをお祝いしました。

小・中・高等部の皆さんが、心を込めて楽しい会を作り上げてくれました。在校生の皆さん、そして、先生方、ありがとうございました。

さて、在校生の皆さんは、先程スクリーンに映し出された写真を見て、門司総合特別支援学校でともに過ごし、ともに学んだ日々が蘇ったことと思います。毎日の学校生活や体育大会、校外学習、製品販売会など、思い出がたくさんあるでしょう。

卒業生の皆さんは、いつも後輩たちを引っ張ってきてくれました。皆さんの姿は、後輩のあこがれだったと思います。

私は、卒業生の皆さんがこの真新しい門司総合特別支援学校で、「明るく、元気に、たくましく」育ってきたことを、とても嬉しく思います。

小学部6年生の皆さんは、学校生活に慣れるにつれて、元気な心と体をつくり、友達と仲良く過ごす態度が身に付きました。

中学部3年生の皆さんは、学習に根気強く取り組む力が付き、自分の進路をしっかりと考え、選ぶことができました。

高等部3年生の皆さんは、本校高等部の第1期生として、卒業後の進路決定に向けて、実習をはじめとして、たくさんのことに挑戦し、自分の力を確かなものにしました。これから続く後輩たちのモデルになってくれました。

卒業する皆さん、どうぞ一人一人が胸をはって、3月の卒業式を迎えてください。そして、これからも自分の力を信じて、一つずつ経験を積み重ね、「あきらめない心」をもって、前進して行ってください。皆さんのさらなる成長を願っています。

当日は、体育館ステージのスクリーンいっぱい、卒業生一人一人の思い出が詰まった写真がたくさん映し出されました。

卒業生は、在校生や先生方とともに、なつかしいひと時、感動がよみがえるひと時だったと思います。

生徒会役員の皆さんが、力を合わせて司会・進行をしてくださいました。卒業する先輩たちのために、事前準備に熱心に取り組み、当日は立派に役割を果たすことができたことを嬉しく思います。

ありがとうございました。



◇卒業おめでとうございます

3月4日（月）は高等部、12日（火）は小・中学部の卒業式です。

おうちの方々や園の方々、在校生や先生方、地域の方々など、たくさんの方々が、皆さんの卒業を心からお祝いしています。



皆さんは、自分の目標に向かっていろいろなことに挑戦してきました。苦しいこともあったでしょう。でも、その山を一つずつ乗り越え、力を付けてきた皆さん一人一人の成長は、目を見張るものがありました。一生懸命に活動に取り組む姿から、元気と感動をもらいました。

卒業生の皆さん、これまでの努力は大切な宝物です。これからも自分のよさを生かして、自分の夢に向かって着実に進んでいってください。

「輝く笑顔と明るい挨拶」を大切に、皆さんがさらに成長していくことを願っています。

— 門司総合特別支援学校の先生方は、ずっと皆さんを応援しています —

【保護者の皆様へ】

お子様のご卒業、おめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。

開校3年目の真新しい明るく広い校舎で、子どもたちはのびのびと日々の学習に取り組めたことと思います。



保護者の皆様の、これまでの本校教育へのご理解・ご支援に厚く感謝申し上げます。

保護者の皆様も健康に留意され、これからもお子様の歩みを見守り、支えていただきますように。

門司総合特別支援学校全景